

IoT 導入に向けて

1. はじめに

近年、よく聞かれるようになった IoT、モノとモノをインターネットでつなぐ Internet of Things (IoT) の活用は、自動車や機械産業などの製造現場にも広がっており、機械設備のコントロールや在庫の見える化など、生産性向上やコスト削減を図ることが可能になります。

一般に、IoT を活用するためには、様々な情報を収集するために、各種センサー（温度、湿度、開閉、照度、傾き、振動センサーなど）を利用して必要な情報を取り込みます。これらのセンサーから情報を取り込むのによく使われるのが、IoT デバイスの Raspberry Pi などのシングルボードコンピュータです。安価・小型軽量でありながら普通のパソコンと同じように、一般的な OS をインストールして使用します。通常のパソコンと違いデータを取り込むための専用のインターフェースを持っており、センサーの接続、データの取り込みを容易にしています。このシングルボードコンピュータを使用してデータを収集し、インターネットに接続してクラウドへデータの保存を行うことができます。

2. IoT 導入に向けた支援

愛知県は、平成 28 年 7 月に経済産業省から「地方版 IoT 推進ラボ」の選定を受けて『愛知県 IoT 推進ラボ』を設立し、相談窓口の開設、実証実験の支援、導入を図るニーズ企業と提供するシーズ企業のマッチングを図るなど中小・小規模企業の IT・IoT の導入・活用促進に取り組んでいます。

産業技術センターでは、平成 27 年度から IoT 導入に向けた講演会開催などの情報提供を実施しています。

平成 30 年度は、「中小・零細企業のための IoT 講習会、IoT 実装技術研修」を開催し、多くの企業に参加いただきました。IoT 実装技術研修では、Raspberry Pi の実機を使用し、セットアップ手順から基本的な操作方法までを習得していただきました。また、温度計や湿度計などのセンサーで取得した情報を Web サーバに送信

し確認する方法などを体験していただきました（図 1）。

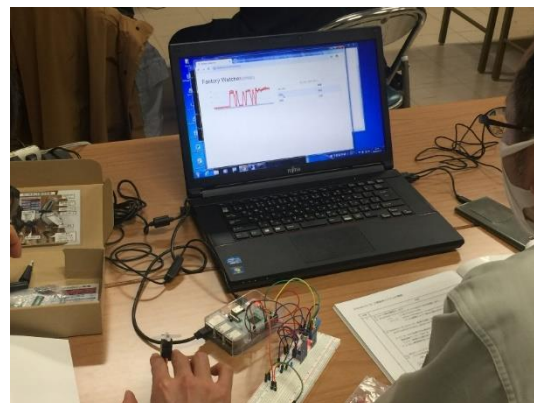


図 1 IoT 研修の様子

また、これらの講習会・研修に参加された方のアンケート結果（図 2）によると、半数近くの企業が IoT を導入済みであるものの、情報の利用がまだこれからである企業も多く、半数以上が準備調査中であり、この講習会、研修が大変役に立ったと好評を得ることができました。

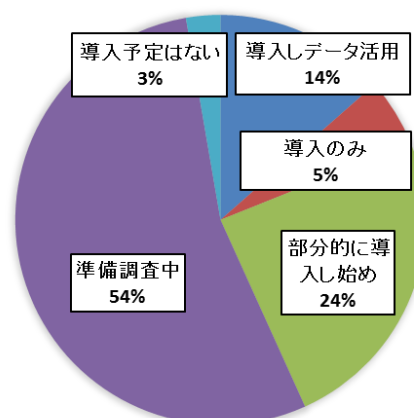


図 2 各社の IoT 導入状況

3. おわりに

新聞記事（中部経済新聞、2018 年 11 月 22 日、「中部の中小企業、IT 化に遅れ」）によれば、中部地域は IoT や AI など先端技術の活用が進んでいないとされています。

産業技術センターでは、今年度も引き続き企業の IoT 導入の手助けとするため、IoT 関連の情報提供や、研修等を実施する予定です。多くの方にご参加いただきたいと思います。



産業技術センター 総合技術支援・人材育成室 太田幸伸 (0566-24-1841)
担当分野 : 総合的な技術相談、IoT 普及啓発